

第1部 総論

第1章 計画策定の趣旨

第2章 計画の期間

第3章 計画の基本指標

第1章 計画策定の趣旨

本市では、平成22年に定めた「第4次基本構想」に基づき、前期基本計画を策定し、行政運営の指針としてまいりました。この前期基本計画の計画期間が平成27年度で終了することから、第4次基本構想に掲げる将来都市実現に向けて、今後5か年にわたって取り組むべき施策を体系的に示す市政の基本的な計画として後期基本計画を策定します。

また、この計画を親しみやすいものとするため、「ここに住みたい、住み続けたいまち やちよ」を愛称とします。

第2章 計画の期間

この計画は、平成28年度(2016)を初年度として、平成32年度(2020)までの5か年を期間とします。

第3章 計画の基本指標

第1節 人口

(1) 総人口

第4次基本構想では、平成32年度末の将来人口を218,000人と想定しておりましたが、本市の人口動向を分析し、将来展望を示す「八千代市人口ビジョン」における将来人口推計との整合を図り、本計画では、直近の人口動向を踏まえ、平成32年度には200,000人になるものと想定します。

●想定人口

	平成27年9月末	平成32年度末
人口	194,963人	200,000人

※平成32年度末の人口は、八千代市人口ビジョンにおける将来人口推計を端数処理したもの

(2) 世帯数・世帯人員

核家族化の進行により、世帯数は増加するものの世帯人員は減少することが予測され、平成32年度には89,900世帯(2.22人/世帯)になるものと想定します。

●想定世帯数

	平成27年9月末	平成32年度末
世帯数	84,306世帯	89,900世帯
世帯人員	2.31人	2.22人

第1部 総論

(3) 年齢構成

平成32年度における年齢別人口及び構成比は、0歳～14歳の年少人口26,100人(構成比13.1%)、15歳～64歳の生産年齢人口123,400人(構成比61.7%)、65歳以上の老年人口50,500人(構成比25.2%)になるものと想定します。

●想定年齢構成

	平成27年9月末		平成32年度末	
	人口	割合	人口	割合
0～14歳	27,641人	14.2%	26,100人	13.1%
15～64歳	120,911人	62.0%	123,400人	61.7%
65歳以上	46,411人	23.8%	50,500人	25.2%

※平成32年度末の人口は、八千代市人口ビジョンにおける将来人口推計を端数処理したもの

第2節 土地利用

本市の土地利用は、市域の南部から中央部にかけての市街化区域と、北部の市街化調整区域に大別されます。

さらに、利用形態では、市街化区域の京成本線沿線を中心とした既成市街地及び東葉高速沿線を中心とした新市街地、また、市街化調整区域の自然環境保全地域と大きく3つに区分されます。

今後も、都市的土地利用と自然的土地利用の調和のとれた良好な土地利用に努めます。



第3節 財政

後期基本計画期間（平成28年度から平成32年度）における一般会計の財政収支の見通しは次のとおりです。

■財政収支の見通し（計画期間累計）

区 分		金 額	構 成 比
歳 入	合 計	273,040 百万円	100.0 %
	市 税	140,618	51.5
	交 付 税 ・ 交 付 金	30,191	11.1
	国 ・ 県 支 出 金	58,729	21.5
	市 債	18,896	6.9
	そ の 他	24,606	9.0
歳 出	合 計	273,040 百万円	100.0 %
	人 件 費	55,335	20.3
	扶 助 費	69,692	25.5
	公 債 費	28,364	10.4
	物 件 費	54,226	19.9
	普 通 建 設 事 業 費	21,694	7.9
	そ の 他	43,729	16.0

※歳入のその他は、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、繰入金、諸収入等

※歳出のその他は、補助費等、維持補修費、積立金、投資・出資金、繰出金等